学校番号	４０５

令和２年度　美術科

教科	美術	科目	絵画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文京出版）・副読本「美術　表現と技法」（日本文京出版）						
副教材等	油彩、アクリル絵の具セット等の教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画表現の基礎を学びます。対象をよく見つめ描くデッサンからはじまり、油彩、水彩などさまざまな画材の扱い方を理解し、その特性を生かした表現方法を学習しましょう。

２　学習の到達目標

・画材、用具の使用法を理解し、基礎的な描写力を養う
・表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な構想を練る
・表現方法を工夫し、主題を追及して表現する

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現方法の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作態度 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	素描	【鑑賞】 ガイダンス ・自己紹介ワークシート ・鉛筆デッサン基礎演習 鉛筆の削り方、デッサン基礎(タッチ、濃淡) 静物デッサン	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品のよさや美しさを感じ取っている。 b:対象をよく観察し、形体の特徴をつかみ構成を工夫する c:鉛筆の特性を理解し、タッチや線の重ね方を工夫し対象を表現している	学習活動の様子 制作の様子 作品
	油彩の基礎	・油彩基礎演習 油絵具の扱い方 塗り方のバリエーション ・油彩 「静物画」 F10 キャンバスﾎﾞｰﾄﾞに描く	○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:油彩の性質や見え方、使われ方や混色の仕方に関心を持ち、油彩の持ち味を理解する b:対象をよく観察し陰影や質感を出すための色の重ね方を研究している c:油彩の特性を生かし表現方法を工夫して丁寧に彩色している d:互いの表現方法を見つめ、油彩の無限の可能性に気づくとともに自己の表現に生かす	ワークシート 制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
2学期	展覧会鑑賞	・高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	○			○	a:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす	鑑賞ワークシート
	油彩「私の靴」	・油彩 「自由課題」 F10 キャンバスに描く	○	○	○ ○	○	a:油彩の基礎をふまえ、自分で題材を探し、ｱｰﾄｽﾀｼﾞｱﾑの発表作品として意欲を持って取り組む。 b:自己の発想から主題を生成し抽象化や再構築を行いながら創造的に構想を練っている c:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している d:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。	ワークシート 制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

2学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・アートスタジアム展示 鑑賞レポート提出	○			○	a:自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす	鑑賞ワークシート
3学期	絵画	・読書感想画 大阪府青少年読書感想画コンクールに向けて作画 B3イラストボードにアクリル絵具を使って制作する	○	○	○	○	a:本の内容を把握し、イメージした世界観を独自の表現方法で描く。 b:発想豊かに表現し、丁寧な技術で制作できているか。 c:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。	制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	素描②	・デッサン演習 2点モチーフ 精密描写 合評	○	○	○	○	a:対象をよく観察し、その質感や存在感を感じ取ろうとしている b:形体の特徴をつかみ画面構成を工夫する c:鉛筆の特性を理解し、タッチや線の重ね方を工夫し対象を表現している d:お互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさを認め合っている	制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。